

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3071500296		
法人名	有限会社プライムタイム		
事業所名(ユニット名)	グループホームひまわり		
所在地	和歌山県有田市箕島22-1		
自己評価作成日	令和4年10月	評価結果市町村受理日	令和5年1月23日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会		
所在地	和歌山県和歌山市手平二丁目1-2		
訪問調査日	令和4年12月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設は、有田市の中心部に位置し施設の窓からは、蜜柑山・有田川が一望できます。又近隣には小学校・中学校・高校・市役所・や市立病院 などがあり、便宜の良い所に位置しています。毎日子供たちの元気な声が聞こえてきます。コロナ感染症の流行前は、子供達との交流や認知症カフェ・介護教室等を盛んにさせて頂いていましたが、現在は出来ない状況が続いています。停止しているサービス等はありませんが、日常の中で利用者様がされてきた梅干し作りやなれずし作りなどは引き続き行っています。又 食事についても利用者様と一緒に季節を感じられるような献立を考え、自宅で作られてきた事を引き続きして頂ける様に工夫をしています。感染防止対策を行いながら散歩等については 精神的ストレスを回避する為実施しています。職員全員がグループホームの理念「和んで 笑って つながって」を大切にチームケアに取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

本人がこれまで過ごしていた生活環境や人間関係、状況などを大切にし、自分の家、自分の部屋で日常生活が営まれ、思いを育む工夫をされています。また職員も経験豊富であり認知症への理解も高く、専門的な関わりを通して、一人ひとりの個性を大切に自分らしく生活できる配慮がなされています。経験値の高いスタッフが長年勤務されていることにより利用者、家族も安心して生活ができています。また、コロナ禍のため地域との関わりが困難な状況の中、工夫した対応をして可能な限りの地域とのつながりを大切に考え取り組まれています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない(感染症対策の為)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	見える場所に理念を掲示し職員は常に理念に基づいた事業所である様に心がけている。毎月のカンファレンスや一年1回の管理者との面談時にも理念の浸透を図り、新人職員には、研修を行う事している。	職員の見やすいエレベーター横に理念を掲示し、会議や研修の際にも理念の周知を行っている。また、理念も一度見直しを行った際は、利用者と職員が一緒に考えた経緯があり、皆の思いが感じられる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域との交流を大切に職員も地域の一員として清掃活動等に参加をしていましたが、コロナ禍の為、写真やお手紙を頂き交流に努めている。	コロナ禍のため地域の小学校との交流はオンラインで行っている。コロナが終息すれば以前のように、高校生も共に参加した避難訓練や認知症カフェの再開が期待される。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域福祉ネットワーク会議や在宅医療サポートと仲間たちの会などで事業所が行ってきた看取り介護等について体験談などをさせて頂いています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルス感染症の流行により、書面での会議開催を行いご意見等を頂きながら課題を明確にし、サービスの向上に生かしています。	感染状況に合わせ書面での会議や感染対策をしっかりと行いながら民生委員、家族、市役所職員、包括職員など参加し通常開催も行っている。コロナ禍以前は利用者の参加も行われていた。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議をはじめ、事ある毎に相談や報告を密に取り、協力関係の構築に努めています。全てのやり取りについては、記録に残しています。	介護保険課職員だけでなく、障がい者支援担当職員や包括職員など他職種の市職員とも連携を深め協力関係を築きながら利用者支援に尽力している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に身体拘束・高齢者虐待・ハラスメント防止等の研修を行っています。人権推進委員の研修を受けた職員が職員全員に伝達を図っている。日中、玄関は施錠せず、地域住民の方々の協力を得ながら入居者の自由が確保されている。	高齢者虐待研修や身体拘束研修、ハラスメント防止研修などあらゆる研修を行い、身体拘束をしないケアの取り組みを徹底している。また、個人の尊厳が守られ人間らしさに重きを置いた対応を行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内にて定期的に、勉強会を行い、啓発・学ぶ機会を確保。虐待の危険を早期に発見した場合は、関係期間へ連絡・連携し、速やかに対応できるように心がけています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	新型コロナウイルス感染症の流行により、オンライン等を活用した研修等に参加している。現在、成年後見人制度を利用されている利用者様もおられます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には、グループホームにおいて出来る事出来ない事や希望される生活を支援させて頂く為の工夫についてや利用料金等についても納得を得た上で手続きを進めています。又、重度化に伴う説明についても契約時に行っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様のご意見等を反映出来る様、家族様との連絡や報告を記録に残し職員間で共有を図れるように工夫しています。又、頂いたご意見等についてはカンファレンス・運営推進会議等で報告し、運営に反映出来る様取り組んでいます。	連絡や報告事項をきちんと記録に残すことで職員間の共有につなげたり、意見交換がスムーズにできるように工夫されている。また、利用者家族の意見などを反映しフリマや認知症カフェを開催することで、利用者家族の声を聞く機会を持っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の日勤・夜勤者からの報告を受けるときに支援についての意見等についても随時・速やかに対応できるようにしています。又、職員の健康状態の把握にも努めています。	月1回カンファレンスで利用者の状態や状況などの報告を受け、それを活かして介護支援内容に反映させている。また、意見交換も行いその内容はパソコン等で記録し職員が共有できる体制がなされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアパス要件の構築により 個々の機能実績に対しての昇給や業務の改善に努めています。随時、相談・業務環境への配慮を行い、職員が向上心が持てるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修・現任研修等受ける機会を持てるようにしています。又、資格習得に向けて積極的に支援しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	有田市地域の福祉介護事業所でのネットワーク会議設立に参加し、意見交換等を行い地域での活動等について話し合っています。又、災害時等での取り組みや課題について話し合い共有しサービスの向上に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の生活上・病歴・生活歴の把握に努め、十分なアセスメントを行い、本人・家族の思いに耳を傾けながら安心して頂ける様に努力しています。又、主治医との連携を密に図りご意見を頂きながら支援をしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスの導入時にも、自宅等での聞き取りや維持連絡がしやすい状況を取りながら小まめに相談等への支援を計画作成担当者・管理者共に行っています。又、共有を図る為、随時書面に残しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に本人・家族等の実情や要望を基にその時点で何が必要かを見極め事業所として出来る限りのサービス提供を行い、必要な場合は他のサービスの紹介も行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の生活歴・価値観・想いを理解し、利用者としてのくくりで接するのではなく、人として共に暮らし、喜怒哀楽を共にし、家庭的な雰囲気と一緒に築いて行けるように心掛けています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現状報告をまめに行い(月次報告等)家族様と共に密に連絡・相談を行いながら支援しています。又、家族様が常時訪問しやすい雰囲気作りや、良い関係を築ける様に心掛けています。感染症により困難な状況ではありますが電話やラインを使い交流を行っています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人が大切にされてきた方との外出や外泊にも支援させて頂いていましたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い難しい状況となり…ラインや電話などによる支援を行い、今までの関係性が途切れない様に支援しています。	コロナ禍のためオンライン動画等で家族に繋いだり、認知症のために馴染みにくい利用者には感染対策をしっかりと行い、クリア板等を使用して時間を決めて面会するなど柔軟な対応をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	平素より利用者様の声に耳を傾け個々に知り得た情報をカンファレンス時に検討、対応についても共有しています。お声掛けの工夫により楽しく過ごして頂ける様に支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	施設を退所された後も関係性を保ち必要に応じて相談支援しています。又、その家族様も引き続き運営推進会議に参加して頂いています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常に利用者様の声に耳を傾けながら利用者様お一人お一人を知り得る為アセスメントを丁寧に取り、なるべく本人の思いに寄り添った協議を重ね、思い・意向を把握出来る様支援をしています。又、個々のしぐさや声のトーンなど言葉以外のシグナルにも気づけるようにしています。	入居に至るまでの生活歴や本人の思いなどが尊重できるように丁寧なアセスメントを行っている。また、本人のしぐさや表情などの非言語的な様子を汲みとり気持ちに寄り添った関わりを行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人・家族様よりお話を聞かせて頂き、又、以前のケアマネからの情報を頂くなど連携を図り、入居までの暮らしや生活環境の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメント計画書3表に表し、日々個々の介護日誌・支援経過に記録し申し送る事で職員全員が把握出来る様にしています。利用者の状態によりケース会議を開催時には担当医と相談を交え状況の把握・ケアについて検討を行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画は「利用者様の出来る力」に視点を定め本人・家族等・担当医・看護師等関係者と話し合い職員間での検討を経て作成しています。各担当職員によるモニタリングを通じて評価をしながら必要に応じて修正を行い現状に即した計画書作成に努めています。	常勤の看護師が医療面のサポートをしているため、医療的な連携をスムーズに行うことができ介護ケアにも反映し、チームで連携しながら利用者の現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録に於いて、毎日の気づきやケアの実践・工夫された事を詳細に記録を行い、モニタリングを作成し、職員間で情報の共有を行い、随時検討する事で介護計画の見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	現在コロナ感染症の流行により、外出・外泊等は自粛させて頂いていますが、近隣への散歩やお宮さん参り・玄関のお花の鑑賞等は、随時希望時に行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者様の状況に応じて、地域包括支援センター・保健センター・福祉課・警察・地域の方々と協力して、会議等にも参加して頂いています。本人の力が出来るだけ発揮でき、安全で豊かな生活を支援出来る様に工夫しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医への受診については、本人・家族様の希望に添える様に努めています。又、内科医以外の専門医の受診への対応も行っています。	家族、本人の意向に添えるように入居前のかかりつけ医の継続もでき、提携医に変更もできる。皮膚科や眼科などの専門医への受診は職員が対応し家族への負担軽減につなげている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者がいつもと違う様子が見られた時に、直ちに看護師に相談・管理者と連携し担当医に連絡相談を行い、同時に家族様との連携を図りながらスムーズに適切な医療を受けられるように支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、ご本人の不安を和らげられるように家族等と相談しながら医療機関に対してケアでの情報を伝え、スムーズな退院に向けて退院前カンファレンス等をして頂ける様に支援しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化や終末期に向けた説明を行い、実際に終末期を迎えるにあたり、医師の説明の元、同意を頂いた上で、対応している。又、定期的な研修・振り返りを行っている。	看取り対応もおこなっているが、実際に終末期を迎えるにあたり、医師を中心に話し合いを行い理解をいただいた上で対応している。また死生観なども大切に考えられ対応につなげている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の対応について、マニュアル化し、勉強会等について周知を図っている。利用者様毎の緊急時持ち出し資料を作成、救急隊員に提出する資料も同時に作成しています。事故別の対応については、研修等で行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に災害を想定した訓練を実施、地域住民・高校生等との合同での訓練を行っていましたが、コロナ感染症の流行により、施設内職員・利用者様での訓練を行っています。	年に2回火災想定訓練を実施している。コロナ以前は地域の学校や住民とも合同で訓練を行ったりしていた。他にも消防署員立会いによる救命救急の訓練なども行い地域との協力体制を築いている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お一人お一人の人格を尊重し、声掛けの工夫 本人の受け入れを基準とし、馴染みになってくる中で、改めて入居者との距離を見つめなおし、節度を保った関係性を職員間で意識する事を大切にしている。	カンファレンスなどを通し、利用者本人が呼ばれたい呼び方を考えて工夫したり、個人の人格が損なわれないような声かけをしている。また、長い関係性の中でも節度のある関わりを職員間で意識している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者の声に耳を傾け、日常生活の場面に於いて出来る限り、本人の想いや希望が反映出来る様に支援しています。例えば食事や入浴等お声掛けにてご本人の声を聞かせて頂きながら支援をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の「自分らしい生き方・生活」の実現に向けた支援が出来る様に努めています。例えば食事の時間・献立の調整や外出・日課とされている散歩等の継続など計画書第3表にも記載し、本人の希望やその日の状態によって変更出来る様に心掛け、個々のペースを大切にしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お好みの服を選ばれ、女性はお化粧をされ、お好みのアクセサリーをつけられている方もいます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様と一緒に季節に合った献立を考える様に努め、個々の出来る事を行って頂きながら調理準備・盛り付け・片付けも一緒にして頂いています。又、身体状態に合った食事形態で対応でき、体調により居室や居間で美味しく食べて頂ける工夫をしています。	なれ寿司や金山寺みそや梅干し、節分の恵方巻きなど季節感のある郷土料理などを利用者と一緒に作り、昔を懐かしみながら食事が楽しむことができる支援を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事量・水分量の記録を取り、一日を通じて確認出来る様にしています。定期的な体重測定や血液検査等により確認し、又、Drと相談の上栄養補助食品なども取り入れています。利用者様により器・スプーン・箸等についても検討工夫をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア、義歯の洗浄を行い歯ブラシについても個々に合った歯ブラシを選択、随時施設内の歯科衛生士による口腔のアセスメント・相談を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様お一人お一人の今の持てる力に合わせて、支援を行い、其の方に合った介助を支援しています。出来る限りオムツを使わず、トイレでの排泄が出来る様に支援しています。	できる限りオムツを使わず、布のパンツに戻れるように、排泄のタイミングをしぐさなどを注意深く観察している。本人にあったタイミングで自然な形でトイレで排泄ができるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘症の方には、看護師と相談し、服薬の調整を行います。なるべく運動や食べ物で排泄が出来る様に、支援します。炊飯時に寒天を入れる・ヨーグルトにはちみつとキウイを入れる・バナナ・牛乳等食べ物に配慮し水分摂取・体操・腹部マッサージ等も併用しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人のこれまでの生活習慣や希望に沿って入浴を支援します。身体状態により簡易リフトを設置し、安心・安楽な入浴を心がけています。楽しんで頂ける様に季節湯の実施をしています。	入浴に関しては、本人が入りたいと希望すれば入れるといった体制が整えられている。また、入浴が苦手な方にもタイミングや声かけや時間帯などを工夫し、入浴ができるように支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状態に応じて、居室や居間のソファに休まれるなど本人が安心して休息が取れるように支援しています。眠れない時は、職員と一緒に居間で過ごされ、眠気が出てこられてから居室に戻られるなど本人のペースに寄り添いながら行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の服薬内容・効果・副作用を記載した記録をファイルし、職員が常時確認出来る場所においている。服薬内容の変更については、業務連絡・引継ぎで確認を行い、記録に残している。投薬は、連携している薬局より薬剤師が投薬、看護師がその日の投薬分をグループホームに上げるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の出来る事から役割・楽しみを見つけて頂ける様に工夫しています。調理の盛り付け・カフェの準備等手伝いや図書館に出かけたり、散歩等支援し、又、季節の梅干し作りやなれずし作りなど行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	以前は日常的に外出が出来る様に支援を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症が流行以降感染症防止の為自粛しています。	コロナ以前は外食や小旅行などに出掛けていたが外出イベントなどが困難になったため洗濯物を干しに出たり、ゴミ捨てに出るなど、日常的に外気に触れる機会を設けている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理は基本的に家族や後見人が管理されますが、少額についてはご本人の希望や能力に応じてお金を所持して頂き、買い物の際に支払って頂ける様支援しています。管理については小遣い帳を作り、後日家族に確認して頂いています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時に電話をして頂ける様又、携帯電話を持たれている利用者様もおられます。お友達、家族様に年賀状等を一緒に書くなど支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースには、ソファや椅子を配置し季節の花を飾り、又、メダカの飼育など思い思いに過ごして頂ける様工夫しています。又、利用者様向けのお知らせについては、目線を合わせるなどの配慮を行なっています。	夜間居室で眠りにくい方も安心して共用のスペースで過ごすことができるようにソファを設置している。他にプライバシーを保つことができるように廊下に机と椅子を設置する工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	狭い空間ではありますが、窓からの風景を見て頂きながらお茶を飲んだり出来る様にテーブルを配置。ソファを置き、リラックスして思い思いに過ごして頂ける様に工夫をしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真や人形等趣味趣向の物や服かけなど利用者様の馴染みの物、家具を配置。居心地よく過ごして頂ける様工夫しています。又、ドアの入り口には手作りの表札をかけ、ご自分の部屋だということを分かりやすくする工夫をしています。	家族写真や仏壇など利用者が大切に思っている物が自由に持ち込まれている。他にも転倒防止の観点からバリアフリーとなっているが、バリアフリーにし過ぎないバリアフリー体制となっていたり、様々な居室への配慮や工夫がある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置や居間、廊下など導線には物を置かず、自由に移動して頂けて対向した時にぶつからない様に心がけています。居間、トイレ等の位置がわかる様に表札や見取り図に利用者様の写真を添付しています。		